

令和5年10月20日

彩の国だよりで「本当に『ダさいたま』！？紙上討論会」 埼玉愛あふれるご意見募集

11月23日（木・祝）から公開される映画『翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』。平成31年に公開された前作『翔んで埼玉』のセリフにもあったように、なぜか埼玉は「ダサイ」というイメージを持たれることがあります。

そこで、今回、「本当に『ダさいたま』！？」と題し、県広報紙「彩の国だより」12月号で紙上討論会を開きます。

なぜ「ダサイ」イメージがあるのかという冷静な分析や、「絶対にダサくない」と思う人はその理由、また「ダサイ」イメージを逆に埼玉の魅力として生かしていくにはどうすればいいか——など、あなたの埼玉愛あふれるご意見をお待ちしています。

1 応募期間

令和5年10月20日（金）～11月10日（金）

2 応募方法

①電子申請システムから投稿

https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=61211&accessFrom=

②はがきから投稿

ご意見（200字以内）・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、
県広報課（〒330-9301 県広報課）だけで届きます）へ

3 留意事項

- ・投稿原稿を編集させていただく場合があります。
- ・氏名は掲載しません。
- ・彩の国だより（紙版・WEB版）にはいただいたご意見の一部を掲載します。
- ・紙版に掲載された人には『翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』コラボ十万石まんじゅう（5個入り）をプレゼント（発送は12月上旬頃を予定）。

4 投稿例

- ・都内の美容院にて、埼玉から来たという「ずいぶん遠いところから」と言われ、やっぱり埼玉はダサイと感じた。
- ・ダサイと言われても、住みやすいのは埼玉。都心へのアクセスも良いし、自然もある。近年まで都道府県で唯一、埼玉だけが人口増を続けていたことが人気を物語っている。
- ・「ダサいたま」というのは、昔、他県民の芸人たちがダジャレで言っただけ。埼玉県民は気にもしていないし、だからこそ「翔んで埼玉」で喜べる。
- ・生まれてから一度も埼玉をダサイと思ったことがない。遊びに行く場所も多く、テレビでもよく取り上げられていて、ダサイどころか魅力的な県だと思う。